

寺崎組新聞

第百十六号

組員一同、心をあわさる

第148回組会報告

♪三代前から「マイメイド」♪という親譲りの「マイメイド」♪というわけ、今回の木曾鳥居峠集合→辰野→茅野組会報告はGMT(地元民)のおらフガ金井が、見え見えいっつとお送りします。ちなみにオープニングはこの頃大詰めを迎え、組員内では大いに盛り上っていた「あまちゃん」のティーストをちりばめてみたんだな。小泉今日子も薬師丸ひろ子も同年代のおらだけど、今回参加者の中では一番若い方だという事実。見え見えいっつ、寺崎組の高齢化とは？

9月21日(土)一日目
前週末猛威をふるった台風一過、今回の組会は三日間とも素晴らしい晴天となりました。前々日は中秋の名月ということもあり、宴会場の上空には綺麗なお月さまがぼかり昇ってやさしい光りに包まれたのでした。

さて今回の集合場所はなんと近所な木曾鳥居峠とか。前回宮城の金子3号さんよろしく、こりゃあ組長がとつととLC4で参加しやがれと、優しさをみせていただけに違いないと思いきみ、いざ！久しぶりの塾参加と相成りました。そう！今回フガの愛車はKTM LC4。組長が乗っていたのとまったく同型同色、リスペクトとかくカスターカーといふべきか。とにかくカラダが動くうちにデカイの乗とけてってんで、昨年暮れレッドバロンで検索してもらったところ1台だけヒット。しかも走行7800km程度上が38万円というので、即購入となった次第です。

今回初共演となった地下鉄さんの同型機とあちこちじっくり見比べてみたのが、私のはここに若干の軽量化の跡が。うん！きつと前オナーは寺崎フリークだったに違いない。停車時の傾きの違いは愛

嬌ですな。(笑)5月の小武川宴会でお披露目したものの、みっちり林道走り込みは今回が初めてで、案の定悪戦苦闘の連続でした。前輪の接地感を含め、車体の安定性は抜群で、太いトルクにどっぶり浸かっていたクルージングは大排気量車の醍醐味。林道でもだいたい2速に放り込んでおけばアクセルのオンオフだけでカバーしやえます。反面その強大なパワーと少し重い車体は思っていたよりシビアなコントロールを要求。いややシビアなんてもんじゃねー、コーナリングはただただガマンガンだし、浮き石やぬかるんだ路面は恐怖の連続。ほとんどシートなんかにや座っていられず、ステッブ荷重してないといけなかったりで疲労困憊阿鼻叫喚、それこそ一日中見え見えいっつと叫んでました。実際2日目のぬたぬた林道であつと期間にステーションと転倒。車体が重たくてひとりでも起こせない始末。情けない話ですが、このバイクにははやくも2回目の転倒。前のバイクたちに乗っていたときはほとんど転んだことなかったのに。まずは引き起こしの体づくりからですね。

へんにして、話しは集合場所の鳥居峠へ。GMTのわりに峠の入り口で迷ってウロウロしつつ、12時すぎに到着。組長はビックタンクのXLRで参加です。WRもいいんだらうけど、やっぱり組長にはXLRが似合うなあと、思うのは私だけでしょうか？徹底的に軽量化を施した各所の造作などは、有名な芸、芸術品の味わいです。りょうふうさんはヒシツといじったXR。ゴ三浦さんと北脇さんはおそろいの詐欺DR。かばさんは緑のカワサキKDX。ザツクからウエアからグリーンでコーディネートされた姿はまるでザクザク！ヘルメットにはカメラも装着されたみたいです。ぜひ映像を見せていただきたいです。上野原からお越しのオガタさんは見え見えいっつ、み

村松岡さんはおニューのCRFで登場、組会につかわしくない新車の匂いがプンプンしてました。そして地下鉄さんと私のLC4コンビのつこう9台が峠の小屋に大集合です。

さあ出発の13時、組長が前日下調べをされた木曾方面の林道は、ゲートだらけで面白くないので、峠をくぐって伊那谷へ。まずは信大農学部前のニシザワショップで買い出しです。なにはともあれ買い出しには、寺崎組ブレてないなあ。いろいろあれこれ買い込んで縁起物の一本ネギをリュックにくくりつけたら、さあさあ！いよいよ林道に突入。組長は辰野方面の山中にずんずん進んでいきます。人里を離れ山合い深く踏み入るこの瞬間が寺崎組の醍醐味。組員の皆さんと一緒ならどこへも何処へでも行ける気がするんです。それにしてもこのバイクに乗っていると、全てが浮き石のぬたぬたの林道に感じてしまふ。先頭の組長はすいすい走り抜けていってしまつて、コーナリーごに背中が遠くなつてしまふ。とにかくコーナリーングは内足できつかけをつくって、外足ステップ荷重で凌ぐのが一杯。250の時速駆使していたコーナリーごのいわけ、セナ足ならぬセナ手！なんてのもつてのほか、アクセルはあくまでパーシャルパーシャル。たちあがり遅れを取り戻そうとガバツと加速し過ぎると、あつといて間に次のコーナリーごが迫つて、あわててかけたブレーキは重い車体を簡単にスリッパさせてくれまた冷や汗。目の前を走りりょうふうさんのXRに追いつきすぎて、追い付かなくてジリジリあせるLC4初心者なものでした(笑)。

跡がけつこう残つてまして、土砂がどしゃぶりと崩れてたり、でっかい丸太がゴロンゴロンと道を塞いでたりのアトラクション満載でした。キノコ狩りの軽トラのじーちゃんに助けってもらつたり、直径30センチはあるかという太丸太をかわりばんこにノコギリがけしたりで、み



LC4おぼろ 筆者

全員の競いあうようにびやびやとテントを建てて、車座に席を構えて、さあ「かんぱい」！。ストームのセットもそこそこに、すかさずおつまみが時計回りにぐるぐるしていきまふ。私もまずは、最近マイブームのカットパイプで先制を謀るも、ベタベタするとかでビミョーな評価。さらにお隣の地下鉄さんと餃子がカブつてしまつたので、ぶん投げさせてもらつて合体してもらいまふ。すつかり戦意をなくした私は専ら皆さんのお裾分けを堪能すること。ゴ三浦さんの塩辛パスタは新鮮なお味でしたし、右隣の村松岡さんの蚊取り線香の台のような網で焼いた地鶏の焼き鳥は絶品でした！そんなこんなでビールから日本酒へと呑み込み、地下鉄さんの「唯一の文明の利器」ウオークマンから中島みゆき(さん)がポロロンと流れてきていい感じに。やっぱり「狼」になりた

い！はしみじみ沁みるねえなんて悦に入つておりますと、あちらではすつかりお地蔵さんとよばれる状態になった組長がぐらんぐらんしてらつしゃいます。まだまだほぼ満月も林を抜けて頭上から照らしてきたことだし、歯みがきしたし、宿題もしたし私も2、3番手でおやすみなさいとなりました。

久しぶりの野宿ということもあり、緊張やら怖さやらで深夜1時頃ふと目があいてしまったら、なんとなく寝付けません。その夜の森は風もなく、獣の鳴き声ひとつもない静けさでした。このなんともいえない自然界を畏怖する気持ち、テントの薄い布一枚で区切られただけのあた

9月22日(日)一日目
いつの間にかウトウトして再度目覚めたのが朝の5時。すでに組長は準備に取りかかっています。朝食は私がいそいそと米を炊き、おかずの調理をはじめます。野宿の朝は米と味噌汁と決めてます。しつたま呑んだカラダには、ネギをザクザクてんこ盛り切り落としした味噌汁が効くんです。おかずはしらす干しが定番。簡単で美味しいので、炊きあがった行平鍋のこの上にとどろろと載っつけます。カジキの西京漬も好きでちよちよく焼きますし、この日は前の晩に使いきれなかった鳥のモモ肉をぶつ切りも投入し、ちよつと豪華な焼き鳥しらす丼となりました。豪華な焼き鳥しらす丼と日本酒のビールとかちよつと高い日本酒とか呑んじやうもんね。食後のコーヒもペーパードリッップで豊かな薫りをゆつく味わいますよ。旅行ですからね。とかいって、だいたいその頃になると自然現象がむくむくとしてきてそわそわしだすんですが(笑)。ワタクシただでさえその回数と、もよおしておりまして、迅速な場所の確保には秒単位の確な判断力が要求されます。ましてや最近よく陥る夜の宴会時でのエマーゲンシーでは、闇夜の恐怖から宴会場のすぐそばでスリリングなミツシヨンとなることを余儀なくされてしまいます。あまりの近さにびっくりです(笑)。そしてなにより寺崎組は事後処理については厳しい掟がありますので、翌朝こそそこそと確認および補完作業を完遂したのは言うまでもありません。

みんな揃つてガヤガヤと朝食時、キノコ取りとみられるジム二とハイズットパンのGMTが、このどんつきは広場に上がつてきました。彼らはまさか昨日まで台風で通行止めだったこの林道のどんつきに、怪しいバイク集団がいるとは思ってもやら、びつくり仰天雨あられの様子。大丈夫ですよ我々はキノコ狩りいたしませぬ故。

2日目は一旦山を降り辰野市内へ。給油したり、地下鉄さんのテールランプの球が切れたのでコメリで買つたり。そして王城枝垂栗林道をかけ上がり、日本のへそで休憩。終

点近くの支線で昼食です。私は食パンをストロープでこんがり焼いてハム&チーズをオン、組長からチューブ入りバターをお借りしてテロテロってさせてもらいました。あ、コンポタスプ買うの忘れたわ。ついでに気付けも(笑)。

すっかり腹ごしらえしたあとは、さらには北上し岡谷へ。ここでかばさんとはお別れです。またいつかどこかで塩尻峠から高ボッチ方面の林道へ入り、走り騒いで下諏訪を目指します。ここが先述のぬたぬた林道。タイトコーナリーのつづら折りとあいまって相当体力を消耗してしまつたところへ長い赤土のぬたぬたアトラクション。堪えきれず山側の斜面にパタンと転倒。そこらじゅう赤土だらけのどろんこまみれとなりまして、さいわい柔らかい土だったので、ケガもなくLC4も無傷ですんでよかったです。しばらく進むと、以前組会で泊まった大きな鉄塔の下に出ました。鉄塔好きの私は、あれから何回か訪れてしまふほど立派な鉄塔です。ほどなく諏訪大社近くに下山。下諏訪の西友でホッとひといき、買出しタイムとなりました。私は一日目に泡の出る気付けが早めに切れちゃったので多めに確保。そのほか今夜のツマミ作戦を成功させるべく、あれやこれやと買い込んで、ずつしり重くなったザツクを担ぎ出発です。一行は国道で上諏訪までテロテロ走り、霧ヶ峰方面に左折した後山沿いの林道を茅野方面へ向けてリグリバク進み、米沢あたりの沢すじ上流の水源地がお宿となりまし



夕暮れ時の16時、鹿がピーピー鳴いてます。村松岡さんは早速風呂に行きました。源流近くのかげ流しですからさぞかし熱かったことでしょう(笑)。さあ今日もびやびやつと